

1. 件名：特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合への対応について
2. 日時：令和4年3月29日 16：30～16：50
3. 場所：原子力規制庁 9階C会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）
原子力規制庁：
（新基準適合性審査チーム）
止野安全管理調査官、立元管理官補佐、深堀上席安全審査官、松野上席安全審査官、石井主任安全審査官、田澤審査チーム員
日立造船株式会社：
機械・インフラ事業本部プロセス機器ビジネスユニット原子力機器事業推進室
主席技師 他5名※
5. 要旨
 - （1）日立造船株式会社（以下「日立造船」という。）から、本日の審査会合（第15回特定兼用キャスクの設計の型式証明等に係る審査会合）において、以下のとおり、議論された事項の確認があった。
 - バスケットプレートの連結部には、「水分」が残留しやすいように思われることから、キャスク内部にどのくらいの水分残留量を許容する設計方針とするのかについて、今後行う予定の長期健全性に関する説明の中で、改めて整理して示すこと。
 - （2）原子力規制庁は、上記の確認事項に関する説明資料の作成を依頼するとともに、本日の審査会合における議論を踏まえ、引き続き確認を行うことを伝えた。
 - （3）日立造船より、本日の議論を踏まえた説明資料の作成等について、了解した旨、回答があった。
6. その他
提出資料なし

以上